

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 芦屋市剣谷プロジェクト 新築	階数	地上6F
建設地	兵庫県芦屋市剣谷9-10、9-11、9-12	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	159 人
地域区分	6地域	年間使用時間	365 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年2月 予定	評価の実施日	2021年2月2日
敷地面積	7,118 m ²	作成者	馬場 正文
建築面積	2,755 m ²	確認日	2021年2月5日
延床面積	8,595 m ²	確認者	馬場 正文



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	入所者の住環境を第一と考え、建築計画を行った。	その他 特になし。
Q1 室内環境	可能な限り外壁面に窓を設けることで、昼光活用が出来るように配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 出来る限り緑地を確保し、敷地内の気温の上昇を抑えられるよう配慮した。
LR1 エネルギー	LED照明や高効率の空調機器を採用するなど省エネルギー性に配慮した。	LR3 敷地外環境 敷地境界線沿いに、構造物ではなく植栽を多く計画することでCO ₂ 削減に配慮した。
Q2 サービス性能	建築設備の設置場所をまとめてメンテナンスしやすい建築計画とした。	
LR2 資源・マテリアル	可能な限り乾式工法を選定し、将来的な部材の再利用を高めるよう計画を行った。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される